

『松本まちなかアートプロジェクト2021』関連事業
松本パルコ最上階 6Fワンフロアに
現代アート展示スポットが登場！
「パルコde美術館」
2021年7月3日(土)OPEN決定！

松本市駅前・中心部にあるファッションビル「松本パルコ」では、松本市が実行委員会を組織して企画する『松本まちなかアートプロジェクト2021』の一環として、最上階となる6階全フロアを利用して、現代アート作品を展示する「松本市美術館×松本PARCO パルコde美術館」の開催を誘致し、事業への協力をいたします。

松本市美術館の大規模改修工事に伴う1年間の休館に加え、市中心部では、国宝 旧開智学校校舎の耐震工事、市博物館の移転新築工事に伴う休館が重なり、街なかの観光への影響が懸念される背景がある中で、「歴史と文化が刻まれた松本の街を舞台に、創作・発信・来街・購買の機会の創出」をコンセプトに、「松本パルコ×松本市美術館」発のアート・文化の情報発信を目指していくプロジェクトとなっております。

松本パルコでは、松本市が掲げる商業ビジョン(2019年度～2028年度)掲げる「think local, buy local」運動～地域の魅力を地域で支える～を具現化する民間事業者主導のキャンペーンとして、20年9月に「松本ショッピング創生プロジェクト」の開催を皮切りに、21年3月、第2弾として「アソビゴコロタリテル？」キャンペーンの実施等、積極的に中心市街地活性化に着手している中で、6Fワンフロア全面の提供により、全国でも前例の少ないショッピングセンター内での美術館（公共施設）スペースの誘致に至っております。

最上階の全面活用による「ショッピングに加えたアート顕彰の提供」により、ネット購買に対する地元・松本でのリアルな場での買い物体験に付加価値を創出、地域の魅力を地域で支えていく機運の醸成に取り組んでいきます。

松本市出身の前衛芸術家・草間彌生さん含む、松本市美術館が注目する様々なジャンルで活躍する松本市や中信地区に縁のある作家を選び、4期に分けて作品が紹介されます。彫刻、漆芸、写真、絵画、インスタレーション等、多様な表現世界を体感できる内容のほか、ミュージアムショップも併設され、アート関連グッズも販売されます。

長引くコロナ禍影響による観光・消費モチベーションの低下傾向にある中で、街なかにアートの顕彰機会を創出することにより、「観光客を含めた新たな人の流れをつくり中心市街地の活性化」を目指していきます。



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART



松本 PARCO

【本イベントに関するお問合せ】

株式会社パルコ 松本店 関根 (seki-ryo@parco.jp) ・高橋 (taka-eri@parco.jp) TEL : 0263-38-2101

松本市美術館×松本PARCO パルコde美術館 概要

- 名称：松本市美術館×松本PARCO パルコde美術館
- 会期：2021年7月3日(土)～2022年2月28日(月) (8か月間)
※美術館休館日：水曜日及び松本パルコ定休日、入替期間
- 【1期】：2021年7月3日(土)～8月29日(日)
- 【2期】：2021年9月2日(木)～10月26日(火)
- 【3期】：2021年10月30日(土)～12月26日(日)
- 【4期】：2022年1月2日(日)～2022年2月28日(月)
- 営業時間：午前10時～午後6時 (最終入場は午後5時30分)
- 会場：松本パルコ 6階全フロア、屋上
- 入場料：500円(一般、高大生) ※中学生以下無料、障害者手帳携帯者とその介護者1名無料

【参考】出品作家 (敬称略)

展示期間		A室	B室	C室	D室	E室	F室	G室	屋上
第1期	7月3日(土) ～8月29日(日)	大曾根 俊輔	飯沼 英樹	草間 彌生		須藤 康花	佐藤 大史	中嶋 明希	千田 泰広
第2期	9月2日(木) ～10月26日(火)					矢島 史織		千田 泰広	
第3期	10月30日(土) ～12月26日(日)					磯部 昭子	小林 努		
第4期	2022年1月2日(日) ～2月28日(月)						伊藤 三園	橋本 遥	

松本まちなかアートプロジェクト2021 概要

■ 開催主旨：松本市がこれまで培ってきた文化・芸術を中心市街地などで、活用・展開することで新たな人の流れを生み出し、アートを通じたまちの活性化とクリエイティブ産業創出を目指す。

■ 主催：松本まちなかアートプロジェクト2021実行委員会

・実行委員会構成団体：

松本市/松本商工会議所/松本商店街連盟/松本観光コンベンション協会/松本クラフト推進協会/信濃毎日新聞社/長野朝日放送

※協力：松本パルコ

■ 事業内容

- (1)：松本市美術館×松本パルコ「パルコde美術館」
- (2)：まちなかでのアート展開

松本市美術館/松本パルコ 概要

■ 松本市美術館（住所：長野県松本市中央4-2-22/ 館長 小川 稔）

■ 学都松本における心をひらく学びの森の美術館として、2002年4月に開館。鑑賞の場、表現の場、学習の場、交流の場を4つの柱に、地域に根ざす総合美術館を目指す。郷土ゆかりの芸術家の作品、山岳や音楽をテーマにした作品などを収蔵。年間約4回の企画展に加え、並行して展示替えをしながら、収蔵品によるコレクション展も開催。書家・上條信山や洋画家・田村一男の記念展示室、地元出身の世界的な前衛芸術家・草間彌生のコレクション展示室があります。

■ 長期休館について

松本市美術館は、大規模改修工事のため、2021年4月1日から2022年4月まで休館。

松本市美術館HPはこちら <http://matsumoto-artmuse.jp/>



MATSUMOTO
CITY MUSEUM
OF ART



■ 松本パルコ（住所：長野県松本市中央1-10-30/ 店長 伊藤 智人）

■ 開業(1984年8月23日→1996年 増床)

直近では、20年9月「松本ショッピング創生プロジェクト」として、イオンモール松本と垣根を越えたコラボキャンペーンを展開し、中心市街地活性化の機運づくりに着手。今春では、個人事業者や商店街との協業による新たなキャンペーンを展開。

松本市MAP



【松本まちなかアートプロジェクト】により、街場の回遊性+新たな人の流れを創出

- 松本市(人口237,484人 令和3年4月時点)→ 3つの「ガク都」+ 国宝 松本城のある観光都市
- ・山岳観光都市の「岳都」、音楽フェスの「楽都」、草間彌生を中心としたアート文化「学都」

出品作家12人のご紹介

おおそね しゅんすけ
大曾根 俊輔 彫刻家



1978年神奈川県生まれ、松本市在住。2002年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工専攻卒業、04年東京藝術大学大学院文化財保存学専攻修了。大学院修了後、公益財団法人美術院国宝修理所に入所し、文化財修復の仕事に11年間従事する。15年より松本市に移住。個展やグループ展で作品を発表。動物をモチーフに、乾漆技法による彫刻を制作している。



マナティー ボク 2017年



左)コウテイペンギン 2018年/右)アンデスコンドル ドルチェ・アンアン 2021年

A室/全期間

いぬま ひでき
飯沼 英樹 彫刻家



1975年松本市生まれ、東京都在住。2002年愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。フランス政府給費留学奨学金を取得し、留学。ドイツやイタリア、デンマークに交換留学し、フランス、ドイツ、オランダ、スイスなどで個展開催。帰国後もヨーロッパを中心に作品発表を続ける。2005年エルンスト・バルラッハ賞(ドイツ)、15年「LUMINE meets ART AWARD 2015」グランプリなど。16年松本市美術館で「飯沼英樹 闘ウ女神たち」を開催。「女性」をテーマに木彫作品を制作。

B室/全期間



Flannery 2021年



Country 2021年

くさま やよい
草間 彌生 前衛芸術家



©YAYOI KUSAMA

1929年松本市生まれ、東京都在住。少女時代、心の中から湧き上がる幻覚を小さな紙片に描き留める。松本、東京での個展を経て57年に単身渡米し、約16年間活動。1973年に帰国し、拠点を東京へと移した後も精力的に制作を続けている。93年第45回ヴェネチア・ビエンナーレに日本代表として出品。活動分野は、平面、立体、環境芸術、映像、小説、詩など多岐にわたる。2016年文化勲章受章。02年、05年、12年、18年に松本市美術館で特別展を開催。

C・D室/全期間



大いなる巨大な南瓜 2017年



天国への梯子 2012年

ちだ やすひろ
千田 泰広 美術家



1977年神奈川県生まれ、北安曇郡池田町在住。武蔵野美術大学建築学科専攻。欧州を中心に世界各地で活動し、各国を代表する芸術祭や展覧会に数多く参加。2019年 Center for International Light Art 観客賞(ドイツ・ウナ)など受賞多数。19年「世界の優れた9人のライトアーティスト」(ARTDEX)に選出される。国立天文台やJAXA(宇宙航空研究開発機構)とも協働するなど、世界的に活動。光を素材とし、日常では見えない世界の不思議を体感する空間芸術を作り出している。

©Yasuhiro Chida

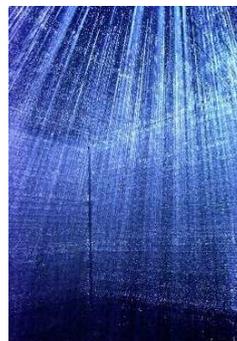
Brocken 6 2014年

屋上/全期間

G室/第2・3期



Brocken 6 A 2017年



すどう やすか
須藤 康花 画家



1978年、福島県生まれ。3歳でネフローゼ症候群を患い、入退院を繰り返しながらも絵を描き始める。2001年多摩美術大学に入学し、父が住む麻績村と行き来しながら描画、銅版画を制作。07年同大学大学院修士課程を修了するが、癌の告知を受ける。この間、公募展に作品を出品し多数入選・入賞。09年、東京の自宅にて逝去(享年30歳)。12年松本市に「康花美術館」が開館する。病と闘うなかで生と死と対峙し、光と闇が交錯した世界を描き続けた。

E室/第1期



悪夢 2005年頃



花火 2003年

さとう だいし
佐藤 大史 写真家



1985年東京都生まれ、安曇野市在住。2008年日本大学芸術学部写真学科卒業後、写真家・白川義員の助手を務める。13年に独立後は、「我々すべてが属している地球」を伝えることをテーマに、主にアラスカなどの手つかずの大自然を舞台に撮影し、世界規模で活動。現在は、日本の森と生き物をテーマにした撮影も行う。17年エプソンフォトグランプリ三好和義賞。20年写真集『Belong』(信濃毎日新聞社)出版。

F室/第1・2期



©Daishi Sato

出品作家12人のご紹介

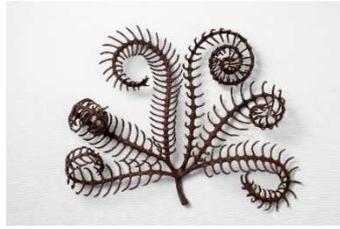
なかじま あき

中嶋 明希 金属造形作家

G室 / 第1期



1979年安曇野市生まれ、神奈川県在住。2007年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻鍛金研究分野修了。その後、同大学美術学部工芸科鍛金研究室教育研究助手(2012~15)、非常勤講師(2015~18)。個展やグループ展で作品を発表。動物や植物をモチーフに、自然界のモノ・コトを独自の生命表現へと進化させた作品を、銅や鉄等を素材に制作している。



うねる 2017年 撮影:桜井ただひさ



左)あしをのぼす 2016年/右)かおをあわせる 2015年 撮影:(いずれも)丸子成明

やじま しおり

矢島 史織 日本画家

E室 / 第2期



1979年茅野市生まれ、茅野市在住。2005年多摩美術大学大学院美術研究科日本画領域修了。個展やグループ展で作品を発表。14年The 9th 100 Artists EXHIBITION 1st Prize OUCHI GALLERY(N.Y.)、15年清須市第8回はるひトリエンナーレ準大賞、シェル美術賞2015準グランプリ、16年第5回あさごアートコンペティション優秀賞、18年SHIBUYA AWARDS Arts部門渋谷区長賞など受賞。日本画の技法を用い、自然や生活そして心の中の「光と影」を主題とした作品を制作している。



Monster #16 2019年



Across 2019年

いそべ あきこ

磯部 昭子 フォトグラファー

E室 / 第3・4期

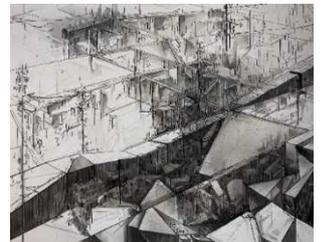


10代を松本で過ごす。東京都在住。2001年武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業。雑誌、CDジャケット、広告など幅広い分野で活躍。00年フィリップモリス・アートアワード入選、エプソンカラーイメージングコンテスト伊藤俊治審査委員長賞、第18回写真「ひとつぼ展」入選、第1回インシュタインフォトコンペティション後藤繁雄審査員賞。近年は大型出力を用いたインスタレーションなども手がける。『LANDMARK』(株式会社サイゾー)、『ALTER EGO』(私家版)、『VIDEO LOOP』(私家版)出版。

©AKIKO ISOBE



雪の巡礼 2019年



機械都市山水図 2020年

いとう みその

伊藤 三園 切り絵作家

F室 / 第4期



1994年伊那市高遠町生まれ、東京都に住。2018年多摩美術大学大学院美術研究科博士前期過程絵画専攻版画研究領域修了。第9回ペラドンナアート展入賞、17年大細密展2017優秀賞受賞、「第24回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞」川上澄生特別賞受賞。切り絵と木版画の技法を用い、主に人物や動植物をモチーフに繊細で緻密な作品を制作。近年は「命の循環」「自然への回帰」「自然との共存」といったテーマに関心を向け作品づくりを行っている。



睡夢 2018年



永遠の輝き 2018年



はしもと はるか

橋本 遥 工芸家

G室 / 第4期



1984年山梨県生まれ、埼玉県在住。2010年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程漆芸専攻修了後、同大学美術学部塗装造形工房教育研究助手を務める。17年から同大学美術学部塗装造形工房非常勤講師。第4回そば猪口アート公募展審査員賞など受賞。学生時代から木曾漆器の産地である木曾平沢と関わりを持ち、現在は、長野県内にてワークショップや漆芸教室を主宰。器など日常工芸品を制作する一方、人体の形状に漆を施す作品など様々な表現を試みている。



悪い夢(部分) 2012年



榎(部分)